

# 外部評価報告書

平成 29 年 3 月

千里金蘭大学 自己点検・評価委員会

# 目 次

I.	千里金蘭大学 自己点検・評価委員会による総括	・・・ P1
II.	項目別評価	・・・ P2
III.	外部評価委員会 評価員名簿	・・・ P5
IV.	千里金蘭大学 外部評価実施概要	・・・ P6
	1. 千里金蘭大学 千里金蘭大学 「外部評価に関する内規」	・・・ P6
	2. 平成 28 年度 千里金蘭大学 外部評価実施要領	・・・ P8
	3. 千里金蘭大学外部評価に関する評価項目及び 評価に関する基本的な観点	・・・ P9
	4. 外部評価員 資料一覧	・・・ P10

## I. 千里金蘭大学 自己点検・評価委員会による総括

本学では、自己点検・評価委員会を中心に、平成 24 (2012) 年度以降、毎年自己点検・評価を実施しており、今年度 [平成 28 (2016) 年度] は、より客観的な視点を取り入れた評価を実施することで、教育研究活動等の改善・向上に資するために、外部評価を実施することとした。

外部評価の実施にあたっては、「外部評価に関する内規」の制定及び平成 28 (2016) 年度外部評価実施要領を定めると同時に、外部の有識者に対し、本学の外部評価員の委嘱の依頼を行ったところ、幸いにも依頼した 3 名全員に外部評価員就任について快諾いただくことができた。

その後、自己点検・評価委員会を中心に、「千里金蘭大学外部評価に関する評価項目及び評価に関する基本的な観点」を定めるとともに、観点別の評価を「平成 28 年度 外部評価のための自己評価報告書」として取りまとめのうえ、外部評価員の先生方に点検の依頼を行った。また、平成 29 (2017) 年 2 月 28 日には、評価員の先生方に本学へお越しいたごき、実地調査及びヒアリングを実施した。

本報告書においては、評価書に基づく実地調査及びヒアリングの結果について、評価員の先生方よりいただいた項目別評価を記載している。

今回の外部評価においては、学内における準備時間の不足等、時間的な制約により、当初予定していた 7 つの評価項目の自己評価を実施することができず、3 項目に限定しての実施となったことは反省点であるが、第三者により、本学の教育研究活動等に対する評価及び指摘をいただけたことは、本学にとっての大きな収穫となったことは言うまでもない。

外部評価員をお引き受けいただいた先生方には、本報告書を通じて改めて感謝申しあげるとともに、いただいた評価及び指摘等を本学の教育研究諸活動改善・向上につなげられるよう、全学体制で取り組んでいく所存である。

平成 29 年 3 月  
自己点検・評価委員長 兒玉 成一

## Ⅱ. 項目別評価

### 1. 大学の使命と目標

#### 【注目（評価）される点】

- ・ 易経の繫辞伝に由来する「金蘭」の建学の精神そのものが、大学の名前でもあり大変分かりやすい。広く社会に役立つ知識はもとより、教養豊かな人間味を兼ね備えた有意な女性人材の育成という精神に則り、実際に社会から信頼される人材育成を行っている。
- ・ 建学以来、学校法人金蘭会学園の「金蘭」を見学の精神として掲げられ、何より女性の自立を目指し「自ら学び、自ら考え、自ら育つ」を基本理念に、その精神を守り育てるとともに、大学ホームページや学生ハンドブックに掲載されており、学生や教職員への周知徹底や、学内外に情報の公開・周知する努力がなされていることは評価できる。今後更なる浸透が図られることを期待する。
- ・ 豊かな教養と深い専門知識を授け、社会から信頼される高い志を持った力強い人材を養成し、地域社会に貢献する人材を養成することを明確な教育目標とされていることは、社会のニーズに適合しており評価できる。
- ・ 大学ホームページやガイドブックに「学長メッセージ」や「建学の精神」と共に「学びの特長」が掲載されており、十分な周知がなされていると評価できる。

#### 【改善を要する点】

- ・ 自己評価報告書で明確に述べられているように、「社会から信頼される高い志を持った力強い女性を育成」という使命・目標をもう少し明確に示すべきと考える。

### 2. 教育課程、教育方法等

#### 【注目（評価）される点】

- ・ 少人数制で学業についていけない学生が生まれないように工夫された教育システムが組み立てられている。
- ・ 図書館、実習室、教室などの施設や設備が充実していて、学生にとっては学業するための最高の環境が整っている。
- ・ 実学という点を意識して資格取得のための行き届いた教育体制が組み立てられているし、その結果として実際に資格試験の合格率や就職率で充実した結果を出している。
- ・ 学生の大学の教育に対する満足度も高く、また就職先や社会からの卒業生に対する評価も高い。
- ・ 現代に生きる女性に適した資格やスキルの習得を軸としながら、自ら学び、考え、育つという姿勢のもとに、信頼のおける女性の養成を教育の目標と掲げ、時代に即した学科を設置してきたことが、その沿革を見て理解できる。
- ・ 各学科の教育研究上の目標が明確に規定されており、それが現代社会の課題に対して真摯に向き合い、その解決に資することの重要性が教員及び学生に対して明示されている。また、少人数教育及び双方向性のある教育が実践されていることは時代の要請にかなったものである。各授業科目は教育課程編成・実施の方針に基づき、定期的な授業アンケート実

施等で内容は担保されており、FD研修会において改善策の検討を行うなど、授業改善のためのアンケート結果について、改善に役立っていることは重要な取り組みである。

- ・教育方法や成績評価、単位認定については概ね適切な運用がなされており、国家試験合格、資格取得状況は特筆すべき成果といえる。
- ・各学科の専門教育だけでなく、教養教育、外国語教育及び情報教育に関わる授業科目がバランスよく配置されていることは、大学の教育理念に沿っており評価できる。また、教授方法にアクティブラーニング法を取り入れたり、教授方法改善の取り組みとしてFD研修会や公開授業を実施したりしていることは大いに評価できる。専門資格取得状況については申し分なしと評価する。

#### 【改善を要する点】

- ・学習成果としてみると、GPA 値から見た達成状況に学科間に差が見られる点については原因分析が必要と考える。今後、IR 推進室でのエビデンスに基づいた教育内容及び教育方法の改善策に期待したい。

### 3. 学生の受け入れ

#### 【注目（評価）される点】

- ・多様な選抜方式を採用している点、大阪以外にも京都、和歌山、岡山などで入学試験を行い様々な地域から学生を集めようとしている点、複数の入学試験を受験しても受験料を増やさず受験生の経済的負担に考慮している点、複数の試験日から自由に試験日を選択できる点など、受験生に対して十分な考慮がなされていと共に、多様な人材を確保する工夫がなされている。
- ・入学者受け入れの方針に基づく募集方法や入学者選抜の実施方法は、AO（アドミッション・オフィス）入学試験、公募型推薦入学試験、指定校推薦入学試験、スポーツ推薦入学試験、一般入学試験、大学入試センター試験利用入試、社会人入学試験及び編入学試験と、多様な選抜方法を取り入れている。多様な入試制度を用いて多様な人材を評価し、学部目的に照らして相応しい学生を確保するという方針は、異なる能力・個性・志向を持った多様な応募学生の中から選抜を行うことを意味している。
- ・多様な入学者選抜が実施されていて、多彩な学生を集めるシステムが構築されており評価できる。学科ごとに2日間にわたる入学前プログラムと通信教育が組み込まれており、オリエンテーションの域を超えた充実したものになっていることを評価する。

#### 【改善を要する点】

- ・生活科学部児童教育学科で定員割れがある。児童教育学科の希望者が減少しているのは全国的な傾向なのでやむを得ない点もあるが、広報などで新しい取り組みをして、普段から高校生や受験生に十分な情報発信ができるように工夫する余地がある。
- ・入学者の多様性がどのように検証されているのかは必ずしも明らかでなく、具体的な検証が求められる。

- ・志願倍率の確保やとりわけ児童教育学科の受験者増をどのように図っていくのかが課題といえる。社会的な背景もあるが、時代の流れにあった工夫が必要と考える。オープンキャンパスとランチ交流会等の連動は効果があると考えられ、オープンキャンパスで貴学を訪れた学生が好印象を持てば入学の可能性が高いと考えられる。志願者増に向け、他大学にはない貴学の魅力を伝える一層の努力が必要である。
- ・児童教育学科の志願倍率が1前後の低い値で推移しており、何らかの改善策・対策が必要であるとする。

#### 4. その他の意見

- ・実地調査日が春期休業期間ということもあり、学生の姿が見られなかったことは大変残念である。  
次回は授業期間中など、キャンパス内での学生の姿が見られる時期に実地調査が行われることを期待したい。

### Ⅲ. 外部評価委員会 評価員名簿

- 眞下 節 市立豊中病院 総長
- ・ 豊中看護専門学校 学校長
  - ・ 大阪府病院協会 理事 ほか

- 島田 昌一 大阪大学大学院医学系研究科 神経細胞生物学 教授
- ・ 日本神経化学会 理事
  - ・ 日本解剖学会 理事

- 原山 葉子 吹田市役所 理事 (シティプロモーション担当)
- ・ 一般財団法人吹田にぎわい観光協会 副理事長
  - ・ 千里ニュータウン FM 放送(株)番組審議委員会委員

○は座長

## IV. 千里金蘭大学 外部評価実施概要

### 1. 千里金蘭大学 「外部評価に関する内規」

[平成 28 年 11 月 10 日制定]

(目的)

第 1 条 この内規は、千里金蘭大学自己点検・評価委員会規程（以下「規程」という。）第 3 条第 2 項に基づき、千里金蘭大学（以下「本学」という。）における外部評価に関し必要な事項を定めるものとする。

(評価項目)

第 2 条 評価項目は、本学の教育研究活動及び管理運営に関して、特に将来の発展に向けた対応が必要な事項とし、千里金蘭大学自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）が定めることとする。

(評価の時期)

第 3 条 外部評価は、認証評価機関による評価を含め、実施の間隔が 2 年を超えないよう、委員会が適切に定めるものとする。

(外部評価委員の選出及び委嘱)

第 4 条 学長は、本学の振興発展に理解がある学外の学識経験者等の中から、委員会の意見を聴取したうえで、評価を依頼する外部有識者若干名を選出し、外部評価員として委嘱する。

(自己評価報告書の作成)

第 5 条 委員会は、外部評価実施に当たり、第 2 条に規定する評価項目について、自己点検・評価報告書及び関連資料を作成し、学長を經由して外部評価員に提出するものとする。

(外部評価の実施)

第 6 条 外部評価は、外部評価員と本学関係者との意見交換及び実地検査によって行われるものとし、意見交換に出席する本学関係者は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 評価項目の内容に関係する教職員若干名
- (4) 学長が必要と認める教職員若干名

(外部評価結果の活用)

第7条 学長は、外部評価の結果を委員会に報告するとともに、提言に基づいた改善等の検討を関係する部局等に指示するものとする。

- 2 前項の規定により学長からの指示を受けた個別部局は、提言を真摯に受け止め、それぞれの活動水準の向上及び活性化に努めることとし、その後の検討内容及び結果、改善状況等を委員会に報告するものとする。

(外部評価結果の公表)

第8条 委員会は、自己点検・評価報告書及び外部評価の結果を公表するものとする。

(事務)

第9条 外部評価に関する事務は、大学事務局が担当する。

(内規の改廃)

第10条 本内規の改廃は、大学協議会の議を経て学長が行う。

附則

本内規は、平成28年11月11日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

## 2. 平成 28 年度 千里金蘭大学 外部評価実施要領

平成 28 (2016) 年 11 月

千里金蘭大学

### ◇ 外部評価の目的

本学の教育、研究、業務運営等の状況について、本学の自己評価をもとに、学外の有識者による検証を実施することで、教育研究活動並びに大学運営の改善に資することを目的とする。

### ◇ 外部評価の対象及び実施方法

3 ポリシーに即した本学の教育、研究等の状況を対象とする。

評価項目及び基本的な観点は、別紙「千里金蘭大学外部評価に関する評価項目及び評価に関する基本的な観点」のとおりとする。

外部評価員は、自己評価書をもとに評価を行い、その結果を「外部評価報告書」として取りまとめ、学長に報告するものとする。

### ◇ 外部評価のスケジュール

本評価は、以下のスケジュールにより実施する。

- ・平成 28 年 12 月 : 自己評価報告書の作成、外部評価員への送付
- ・平成 29 年 2 月 : 評価員による実地調査及びヒアリング
- ・平成 29 年 3 月 : 外部評価報告書完成・提出

### ◇ 外部評価結果の公表及び活用

外部評価報告書は、本学のホームページ等への掲載などにより公表するとともに、本評価結果を今後の本学の教育、研究、業務運営及び平成 29 年度認証評価にかかる自己点検評価書に反映させる。

### 3. 千里金蘭大学外部評価に関する評価項目及び評価に関する基本的な観点

評価項目	基本的な観点
1. 大学の使命と目標	1-1 大学の使命や目標などに関する情報が公開され、周知されているか。
	1-2 大学の使命や目標などに関する情報が、十分かつ的確で、誰にでもわかりやすい内容となっているか。
2. 教育課程、教育方法等	2-1 各学科の教育目標に沿って、専門教育、教養教育、外国語、情報教育等に関わる授業科目のカリキュラムがバランスよく配置されているか。
	2-2 社会のニーズに対応した教育課程の編成・実施上の工夫が行えているか。
	2-3 学士課程教育への円滑な移行に必要な導入教育を行っているか。
	2-4 入学時、進級時などにおいて、履修指導を組織的に行っているか。
	2-5 講義、演習等の授業形態の組み合わせなど、教授方法の工夫・開発を行っているか。
	2-6 ファカルティ・ディベロップメント (FD) に関わる各種の組織的取り組みを行っているか。
	2-7 単位修得、卒業、卒業後の進路の状況等から判断して、学習成果は上がっているか。
3. 学生の受け入れ	3-1 多様な選抜が公正かつ正確に実施されているか
	3-2 一定の志願倍率を確保しているか。また、地域からの受験生を確保できているか。
	3-3 入学手続者に対し入学までに授業や学生生活についての情報を提供できているか。
	3-4 入学前教育は充実しているか。
4. 学生生活	4-1 学生の経済状況に鑑み、大学独自の奨学金制度等を用いた配慮を行っているか。
	4-2 図書館の開館状況や、情報処理教育センターの開室状況など、自習環境の整備に配慮しているか。
	4-3 学生の就職指導に組織的・体系的に取り組んでいるか。
	4-4 学生からの相談（生活や就職、心身の悩みなど）に対する助言、支援を適切に行っているか。
5. 社会連携等	5-1 大学施設、公開講座など、大学資源を社会に開放しているか。
	5-2 地方自治体や企業との共同研究や受託研究の実施、審議会等委員への就任など、大学の持つ知的財産を地域社会へ還元しているか。
	5-3 地域との協力関係を構築しているか。
6. 管理運営・財務	6-1 中長期事業計画や各年度の事業計画を定めるとともに、業務執行の管理体制構築のうえ、適切に機能しているか。
	6-2 中長期計画に基づく財務運営を行うとともに、安定した財務基盤確立に努めているか。
7. 附属学校	7-1 大学と附属学校（金蘭会高等学校・中学校）が連携し、それぞれの使命・役割をふまえた協力や取り組みが行われているか。

#### 4. 外部評価 資料一覧

##### ◇平成 28 年度 外部評価のための自己評価報告書

##### ◇資料

- ・ 大学案内 (2017 年度版)
- ・ 学生ハンドブック 2016 (平成 28 年度)
- ・ 2017 年度入試 学生募集要項・願書
- ・ 千里金蘭大学生生活科学部 進級等内規
- ・ 千里金蘭大学看護学部 授業科目の履修条件に関する内規  
※学則及び履修規程については、学生ハンドブックに記載
- ・ 平成 28 年度前期 授業アンケート (原本)
- ・ 各学科・専門科目 授業アンケート集計結果
- ・ 平成 27 年度学修行動調査集計結果
- ・ 就職先一覧
- ・ 平成 28 年度入学予定者対象 入学前プログラム